

## ネット系リユースことはじめ

(株) エックス都市研究所 齋藤 友宣

みなさん、不用品の処理、はたまた物を買うときに、リユースを検討されたことはありませんか?古くてもいいからこれが欲しい!&リユースショップに引き取ってもらえないモノもインターネットでのオークション(以下、ネット・オークション)やフリマアプリを使えば、誰かに譲れるかも!このコーナーでは、すっかりお馴染みになったネット・オークションと、スマートフォンの普及とともに現れたフリマアプリについて紹介するとともに、ネットを使ったリユースについても触れてみました。

## 1 ネット・オークション

日本のネット・オークションの代表格といえば、「ヤフオク(旧Yahoo!オークション)」、モバオクなどがありますが、今回はご存じの方も多だろう「ヤフオク」についてお話ししたいと思います。「ヤフオク」の歴史は、日本のネット・オークションの歴史といっても過言ではないと思います。

ネットビジネスの台頭により、ネット上で競売方式の商品売買ができるようになると、ネットショッピングに慣れていったユーザは、より安価で、またはなかなか手に入らない商品を求めて利用するようになります。米国では1997年、ネット・オークション eBay が立ち上がり、1998年9月に、Yahoo!オークションが開始しています。

その後、日本では、Yahoo! JAPAN が Yahoo!オークションの名で1999年にサービスを開始し、2013年に「ヤフオク」に名称変更し、現在では常時52,000点が出品されており、利用者は26,147,000

人(スマホユーザ:17,297,000人、パソコンユーザ:8,850,000人)、ともに日本の規模となっています<sup>1)</sup>。

この「ヤフオク」を利用するメリットは何ととっても豊富な品揃えです。古物商や転売業者が出品者に参入しているのも特徴です。もう製造していない商品や廃盤になったレコードなど、コレクター嗜好の強い商品はニーズがあり、利用価値が大だといえます。

次に実際の流れをみてみましょう。出品に関する情報をオークションサイトに登録すると、出品情報に基づいてウェブページが作られ、オークションのウェブサイトに掲載されて、オークションが開始されます。購入希望者は、このサイト内の検索機能によって希望する商品を探し、購入希望額を入れて入札します。自分の入札額を上回る入札が行われた場合には、再度入札を行い、入札額を競り上げることができます。これがシステムですが、表1にあるように、出品するのに手数料として、月額498円のプレミアム会員になることが条件となっています。

落札が決まったときには、手数料として落札価格の8.64%を支払うことになっています。決済方法として、エクスロー方式がとられています。このエクスロー方式については、後で説明します。落札後は、出品者は匿名希望にすると個人情報は落札者に開示されず、落札者も連絡先を設定することができるようになりました。

筆者がよく利用した頃は、当事者同士の直接のやりとりという色合いが濃く、出品や入札時点では住所や氏名、連絡先などの情報はオープンにされませんでした。落札後は、出品者・落札者ともに名前も住所も電話番号もオープンになり、出品者の銀行口座に直接振り込むようなスタイルでした。そのため、本当に偶然ですが、実生活で落札者本人に会ってしまうこともありました。

NECの「モバイルギア」という小さなノートパソコンを出品して売ったことがあります。しばらくしてから、仕事の打合せで名刺交換をしたときに、どこかで見覚えのある名前だと思って、ひょっとしてと尋ねたら、なんと、落札者ご本人。買ってもらったものがちゃんと使えているとか、そのノートパソコンの使い方などの雑談をして、同じ物に興味を持っている者同士で出会える楽しみを味わうことができました。

しかし、その一方でいろいろと問題も起こりました。顔をあわさずに商品と代金をやりとりするという構造上、どうしても支払いと商品受取に時間差が出るため、相手に振り込ませて、商品を送らないという詐欺や、いわゆる「いたずら落札」といって、落札しても代金を振り込

まず、出品者が取引中止をして改めて出品をすると、また同じ人が落札をして、代金を振り込まないといった嫌がらせを繰り返すといった行為も発生しました。

こういったいろいろな問題に、ネット・オークションや次章のフリマの運営会社もいろいろな対策を講じてきました。前述のエクスロー方式というのもその一つで、落札者が先に代金を振り込むことが多いのですが、代金を一旦、運営会社が受け取り、落札者から商品到着の連絡があった後に、運営会社から出品者に代金を支払うことで、商品を発送しない詐欺を防止します。また、出品者・落札者の双方が個人情報を開示しないで済むように、匿名配送サービスが導入されたりしています。この匿名配送サービスはとてよく出来ていて、商品が落札されると、出品者は商品を発送しなければならないわけですが、落札者が匿名なので、名前も住所もわかりません。どうするかというと、宅配便の送付状を書く代わりに、出品した商品の取引画面でスマートフォンの画面に2次元バーコード表示させ(図1)、それをコンビニや配送会社の端末に読み込ませると、大きな2次元バーコードが印刷された送付状が印刷される仕組みになっています。送付状には送り主も受取り主、双方の名前も住所も書か



図1 2次元バーコードの送付状(メルカリサイトから)

れておらず、ただ2次元バーコードがあるだけ。配送会社の端末で読み込まないと住所も名前もわからないという仕組みになっています。

このように、いまでは、利便性や安全性が向上し、手軽に、そして比較的簡単にサービスが利用できるようになってきていると思います。

## 2 スマホのフリマアプリ「メルカリ」

既に使っているという方も多いと思いますが、スマートフォンのいわゆる「フリマアプリ」は、古くからあるネット・オークションよりもお手軽なことが多いです。ここでは、2013年に開始された「メルカリ」について説明します。

「メルカリ」は、ユーザは1,082万人、出品数は100万品ですが<sup>2)</sup>、2015年から2016年のユーザ伸び率は77.9%となっていて、すごい勢いです。出品は、スマートフォンがあれば、フリーアプリをダウンロードし、出品をクリックして画面の操作に従い、写真を撮ってそのままアップロードができるので、パソコンを使う

よりも便利です。購入希望者から連絡が入ると「やることリスト」が点滅して、知らせてくれます。商品価格はすでに決定されているので、売り手と買い手が合意すれば、すぐに取引成立、決済に入り、スマホを持ってコンビニや配送会社に行けば、先ほどご説明した匿名配送サービスにより、送付状を書くこともなく、発送することができます。

また、購入希望者とのアプリ上でのやりとりも可能で、少々値切ることもできるようです。ただ、相場観がわからず低価格に設定してしまうと、それ以上の価格では売買できず、失敗したという話はときどき聞きます。しかし、手軽で安心して安く購入できるというのが最大のメリットです。表1にあるように、若い女性のユーザが多いので、ちょっと試してみたいモノ、トレンドの移り変わる商品でも気軽に購入できること、また、出品する場合、不要なモノを手軽に手放せる、しかもちょっとした小遣い稼ぎになるというのも大きな理由かもしれません。

他にも、落札価格はともかく、こんなものでも引き取ってくれる人がいるの

かと思うと、非常にありがたいということもあります。…なかなか町のリユースショップなどでは引き取ってくれないものでも、買い手がつくところが好まれていよう。出品を見ると、一風変わったところでは、子どもの工作用トイレットペーパーの芯であるとか、アイスの棒（もちろん新品ではなく、食べた後のもの）や、どんぐり、紙袋、半分以上使用済みの化粧品や香水など（写真1）、自分で描いたイラストも販売されており、生活感溢れる、手作り市ともいえるのでしょうか、そのカオスな雰囲気をみているだけでも楽しめます。

遺品整理でメルカリを利用して、売れたという話もよく聞きます。ネット・オークションやフリマは、リアルなフリーマーケットよりも、たくさんの売りたい人・買いたい人が集まるため、想像以上に多様なマッチングが可能になっているということなのでしょう。わたしやあなたが不用だと思うものも、不用になるまでは、必要だったから持っていたわけですから、わたしやあなたと同じように必要だと思う人も、どこかに必

## 3 その他のネット利用法

「金は要らん!でも捨てるのは嫌だ!」という方におすすめなのが、今号42ページにも掲載されている、ゆずります・もらいますサイト。これは京都の話ですが、こういったサイトは各地域ごとに作られるので皆さんの住んでいらっしゃる地域には必ずあると思います。古くても、少しボロっとしていても、諦めずに、こういったサイトで、必要な人を探すのもひとつです。

他にも部品を取り寄せ、壊れた物を修理することもできます。あくまで自己責任にはなりますが、筆者の場合は、タイで製造されたホンダのバイクのパーツをヨーロッパのバイクパーツの通販で購入し、修理しました。ノートパソコンの液晶画面だけを購入し、取替えを行ったりと、何か修理をしなければならぬ場面、インターネットに助けられています。

部品は自分で手にいれて、取り付けだけプロに頼むという方法も個人的にはおすすめです。みなさんも是非、ご活用ください!

機械の構造やものの構造を知ると、省エネなど賢い使い方を知るきっかけにもなったりします。それほどの手間をかけずに、修理することもできますし、修理したい人向けに部品取り用にネット・オークションやフリマで売ってしまうのも、ごみにしないためには効果があるのではないかと思います。



ずいするはずということなのでしょう。

写真1  
たとえばこんな使いかけの香水も商品として掲載されています

### 参考文献

- 1) 数字で見るヤフオク：HPより  
<https://auctions.yahoo.co.jp/topic/promo/infographic/#top>
- 2) 日本経済新聞：フリマvsオークションネット売買の両雄比較  
<https://vdata.nikkei.com/datadiscovery/20shopping/>

表1 「ヤフオク」と「メルカリ」の比較

	ヤフオク			メルカリ	
	PC: 45%、スマホアプリ: 55%			PC: 5%、スマホアプリ: 95%	
使用デバイス比率	オークション			フリマ	
出品形式	オークション	オークション	フリマ	フリマ	
出品するための条件	プレミアム会員登録 月額498円(税込)	Yahoo会員登録 (無料) アプリからの利用	無料	無料	
価格決定	入札により決定 定額決済もあり	入札により決定	定額	定額	
成約手数料	落札価格の8.64%	落札価格の10%	売買価格の10%	売買価格の10%	
出品期間	1週間+11時間内で 1時間ごとに設定	翌日の21:00 ~23:00	1週間	無期限	
決済手段	エスクロー方式(2018年3月より)			エスクロー方式	
ユーザ層	男性40代、50代、30代			女性10代、20代、30代	

参考文献2)、ヤフオクHPを基に作成